

文化庁「若手映画作家育成プロジェクト2007」
NEW DIRECTIONS IN JAPANESE CINEMA
募集案内

このプロジェクトは、平成18年度より文化庁と映像産業振興機構（VIPO）が取り組んでいるもので、在野の優れた若手映画作家の発掘と育成を行い、本格的な映像制作技術と作家性を磨くために必要な知識や技術を継承するためのワークショップを実施すると同時に、新たな才能の発掘を目的とした作品発表の場を提供することで若手映像作家を支援し、日本映画の活性化を目指しています。昨年度は、8作家がプロジェクトに参加しました。

今年度のプロジェクトでは、最初の1ヶ月で模擬撮影を中心としたワークショップを行ったあと、35ミリフィルムによる製作実地研修を行うこととしています。

つきましては、今年度も、募集案内に基づいて作家を募集いたしますので、ふるってご応募ください。募集人数は15名程度とし、その中から、これまでの実績やワークショップでの成果などを勘案し、製作実地研修に進むことができる5作家を決定します。なお、それぞれの作家の決定にあたっては、有識者による選定委員会を設置し審査を行います。

応募は、ガイドラインに沿った機関を経由することとなっておりますので、案内をご参照ください。

（募集案内の内容）

- I. プロジェクト参加希望者のみなさんへ
- II. 作家の推薦をおこなう機関のみなさんへ～事業参加者推薦に関するガイドライン～
- III. 申込書 様式①
 様式②
 様式③

【当プロジェクト担当・問い合わせ先】

NPO 法人映像産業振興機構（VIPO） 志田、しらよね たひろ白米、田弘
〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル8F
tel 03-3543-7532 fax 03-3543-7533
info@vipo.or.jp
<http://www.vipo-ndjc.jp/>（プロジェクトHP）

I. プロジェクト参加希望者のみなさんへ

1. 実施概要

すでに相応の映像製作実績と評価を有する若手作家を対象としてワークショップを実施します。さらに、ワークショップ参加者から、特に優秀な企画を選抜し、映画製作の実地研修を行います。完成した作品に関しては、映画製作関係者等に対する上映会など各種プロモーション活動を行います。

2. スケジュール（予定）

応募締切	平成19年8月17日（金）17：00
ワークショップ受講者発表	平成19年8月下旬
ワークショップ	平成19年9月の10日間程度
製作実地研修者決定	平成19年9月下旬
製作実地研修	平成19年10月～平成19年1月
作品披露試写会	平成19年2月下旬

3. 応募資格

- (1) 原則として日本国籍を有する者又は日本の永住資格を有する者。学生は除く。
- (2) プロ・アマ不問。ただし、過去に劇場公開された商業用長編映画の監督経験がある者、および監督予定の者は除く。
- (3) 当プロジェクト参加者は、以下のいずれかに該当することとし、応募の際は、各団体・企業等が推薦をおこなうこととする。
 - ・映画祭等で入選等の実績がある者
 - ・商業映像等、映像製作分野での優秀な実務実績のある者
- (4) 応募時は、入選等の実績を証明するもの、製作した映像等を提出できること。
- (5) 製作実地研修の際、製作予定の作品企画・脚本・予算案等を提出できること。
- (6) 製作実地研修は、35ミリフィルムを使用することとする。実地製作する作品はストーリーのあるものに限定し、上映時間はクレジット等全て含め25分以上30分以内とする。

4. 備考

- (1) 製作実地研修に当たっては、期限内（作品披露試写会の前）に作品を完成させることとしますが、当プロジェクトとして参加者の作品の完成を保証するものではありません。
- (2) 当プロジェクトにより製作した作品の著作権は当機構が有します。ただし、作家が独自に行う上映活動や続編・長編製作等のための利用を妨げるものではありません。

- (3) 製作作品、研修内容に関する情報について、主催者が当プロジェクトの趣旨にのっとり開示する場合があります。
- (4) プロジェクト参加作家の審査等は、当構内で公正に行われるものとします。なお、主催者及び事務局は審査基準・審査結果に関するお問い合わせには一切応じることはできません。
- (5) 応募にあたっては、3（3）にあるとおり団体、企業等の推薦が必要ですので、推薦が可能な団体・企業等について「Ⅱ. 作家の推薦をおこなう機関のみなさんへ」を参照の上、自身とかかわりのある団体、企業等に相談してください。推薦団体・企業等が見つからない場合は、当プロジェクト問い合わせ先までご連絡ください。
- (6) 応募にあたっては、3（4）で提出を求めている資料のほかに、推薦団体・企業等が別途資料の提出を求める場合があります。

Ⅱ. 作家の推薦をおこなう機関のみなさんへ ～事業参加者推薦に関するガイドライン～

当プロジェクトは、文化庁、映像産業振興機構が行う人材育成の一環であり、また審査を公正に行う必要があるなどの観点から、以下のガイドラインに沿って作家を推薦することができる機関を審査しています。ガイドライン及び審査結果は、映像産業振興機構において、当プロジェクト参加者と利害関係のない者による検討委員会を組織し、確認を受けることとしています。

作家の推薦を希望する場合には、当プロジェクト問い合わせ先までご連絡ください。

1. 映画祭、映画振興団体等、第三者支援型団体に関するガイドライン

当該団体のこれまでの活動が、映画・映像製作振興において、十分な社会的実績があること。具体的には、以下のいずれかに該当するものとする。

○活動を扱う記事が商業媒体に掲載された経験があること。（自己負担によるもの、関連媒体によるものを除く）

○過去の活動において、文化庁をはじめとする公的団体の後援、支援等を得た実績があること。

○広く公募、告知を行う活動の場合には、十分な応募者があったこと。

○イベントを実施するもの場合は、継続して3回以上の実施実績があること。

2. 映像関連企業に関するガイドライン

当該企業の活動が、社会性を持ち、第三者からの認知を有すること。被推薦者の活動が、当該企業の活動と密接な関係を持っていること（雇用関係、作品出資、作品製作主体等）。

推薦の際には、当該企業から統括団体（日本映画製作者連盟、日本映画製作者協会等）に連絡をし、統括団体から推薦することとする。

3. 共通事項

被推薦者の製作実地研修時の育成管理は、育成管理団体を通じ実施する。育成管理団体には、作品プロデュースに関し適切な業務分担・指導を実施し、被推薦者との連絡・協議、映像産業振興機構との必要業務に対応する人的・金銭的余裕を有する団体を充てるものとする。

当該推薦団体が育成管理団体を兼ねることを希望する場合には、作家の推薦の際に申し出ること。

文化庁「若手映画作家育成プロジェクト2007」 申込書

氏名	ふりがな _____ 印			写真貼付位置 上半身4cm×3cm 写真の裏面に氏名を記入のこと
性別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	職業		
生年月日	<input type="checkbox"/> 昭和 _____年 _____月 _____日 <input type="checkbox"/> 平成 _____年 _____月 _____日	所属団体	団体名	
年齢	_____歳 (平成19年8月1日現在)		所在地	
現住所	〒 _____ (本籍地 _____ 都道府県)		電話	
			FAX	
			eメールアドレス	
連絡の先他	〒 _____		電話	
			FAX	
			eメールアドレス	

推薦団体	
------	--

最終学歴	<input type="checkbox"/> 昭和 _____年 _____月 <input type="checkbox"/> 平成 _____年 _____月	
健康状態	<input type="checkbox"/> 健康 <input type="checkbox"/> やや不健康 <input type="checkbox"/> 不健康	既往歴 (最近5年以内のみ記入)
配偶者	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 扶養家族 _____人	本制度への応募履歴 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 応募年度 _____
保護者	(応募者が未成年者の場合のみ記入) 氏名 _____ 印 _____ (自署)	現住所 〒 _____ 電話 _____ □応募者本人と同居 □応募者本人と別居(下欄に記入)

DVD等映像資料一覧

収録時間(分秒)	作品名	役割等	製作年月
			~
			~
			~
			~

その他参考資料等(もしあればその内容を記載のこと)

--

推 薦 書

平成 年 月 日

推薦者氏名

印

候補者氏名

推薦理由